

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、令和6年度福井県公共工事入札監視委員会（第2回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

1 日 時 令和7年1月29日（水） 9：30～11：30

2 場 所 県庁10階 審問廷

3 出席委員 荒井委員、樫尾委員、清水委員、藤井委員（五十音順）

4 議事次第

1) 開会

2) 議題

(1) 入札および契約に係る制度の運用について

①入札・契約手続の運用状況

②抽出事案審議

3) その他

4) 閉会

5 会議概要

(1) —① 入札・契約手続の運用状況（令和6年4月1日～令和6年9月30日）

- ・契約件数、落札率の状況について説明
- ・指名停止の運用状況について説明
- ・総合評価落札方式の実施状況について説明

Q 入札不調不落の状況について、発生率を前年度と比較すると少し減少した理由は何か。

A 令和4年8月に発生した災害関連工事等が落ち着いたため、配置できる技術者が増えたため、発生率が少し減少した。

Q 総合評価と価格競争とで、落札率の平均値があまり変わらない理由は何か。

A それぞれの平均値をみると大きな差はないが、落札率が99%以上の件数および割合は、総合評価が価格競争よりも高くなっている。

また、価格および技術ともに1位の割合が5割近くで、それ以外では価格によらないで落札したのがあり、総合評価落札方式の技術評価が機能している。

(2) —② 抽出事案審議

ア 抽出事案1

Q 4者辞退の理由は何か。

A 応札期間中に入札参加資格有の業者が多忙となり、技術者の配置が困難となったため、辞退したと推測される。

Q 現場条件はどうか。

A 工事箇所が山奥にあり、すぐ近くには斜面があるため、良い条件ではない。

イ 抽出事案2

Q 電気工事は応札者が多い印象であるが、今回は2者と少ない理由は何か。

A 海水を取水する設備に関わる工事のため、対応できる業者が少ないことと、工事現場が辺鄙なところであり現場条件としてもあまり良くない工事のため、応札者が少なかった。

ウ 抽出事案3

Q 障害発生時に対応できる緊急連絡体制がとれることを条件としているが、技術者不足の中でこのような体制は難しいと考えられる。費用は設計額に含めているのか。

A 含めていない。
ただし、障害が発生した場合、別に費用をみている。

エ 抽出事案4

Q 応札者が17者と多い理由は何か。

A 工事の条件や難易度はさほど難しくはない。また、入札参加資格条件に該当する業者数が多いことから、競争性の高い案件となった。

オ 抽出事案5

Q 設計額が120万円と小規模かつ応札者数も少数であることから、同様な案件をまとめて設計金額を大きくして発注することはできなかったのか。

A まとめて発注することにより、競争性を確保する場合もあるが、今回の案件は、同時期に発注する案件がなかったため、小規模での発注となった。